

## 諏訪之瀬島

### 概 況

火山活動は活発で、爆発的な噴火や連続した噴火がありました。

2月25日から継続していた連続微動は3月14日4時22分に一旦止まりましたが、15日0時44分から19日1時48分まで断続的に発生しました。そのうち、3月7日3時5分から13時15分までは比較的大きい振幅の空振を伴っており、噴火が連続して発生していたと考えられます。爆発的噴火は10回観測しました。

### 噴火活動の状況

爆発的噴火は1日に1回、10日に2回、11日に1回、12日に2回、14日に1回、18日に2回、19日に1回と3月には10回(2月:3回)観測しました(図4、図10、図11)。また、連続した噴火が3月7日3時5分~13時15分に発生しました。

### 噴煙活動の状況

十島村役場諏訪之瀬島出張所によると、御岳火口の噴煙は白色で最高高度は2日、11日、29日の600m(2月:600m)でした(図1、図5)。7~9日、18日に鳴動が確認され、7~9日、18日、28日に火山灰の噴出や集落への降灰が確認されました。

### 地震・微動活動の状況

A型地震の発生回数は48回(2月:56回)で、3月27日に17回と集中して発生しました(図2、図6、図7)。その地震の震源は御岳火口の東約2~4kmでした(図12)。

また、B型地震の発生回数は125回(2月:140回)で2月と大きな変化はありませんでした(図3、図8、図9)。

2月25日から継続していた連続微動は3月14日4時22分に一旦止まりましたが、15日0時44分から19日1時48分まで断続的に発生しました。そのうち、3月7日3時5分から13時15分までは比較的大きい振幅の空振(島内の気象庁観測点の空振計で10Pa以上)を伴っていました。また、散発的な火山性微動は、14~15日、18~20日、28日、30~31日に発生しました(図4)。

\* 諏訪之瀬島を監視するための遠望カメラを中之島(御岳火口の北東約20km)へ設置し、3月28日に運用を開始しました。

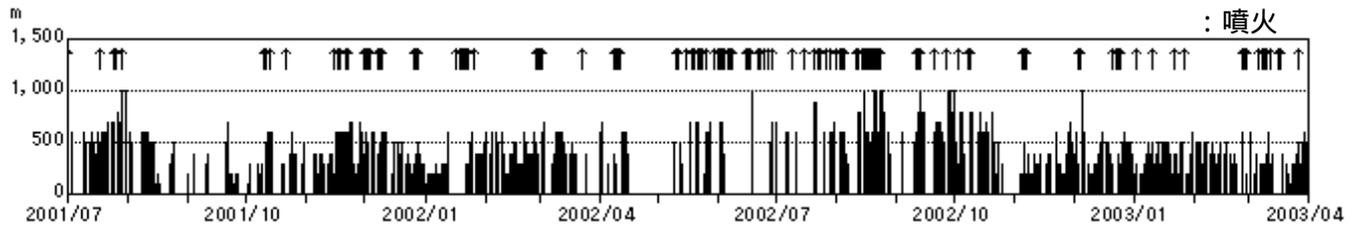


図1 日最高噴煙高度と噴火(2001年7月~2003年3月)



図2 A型地震の日別回数(2001年7月~2003年3月)

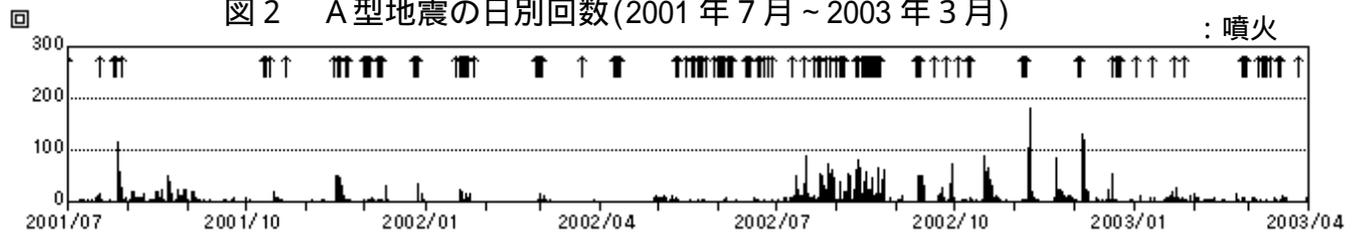


図3 B型地震の日別回数(2001年7月~2003年3月)

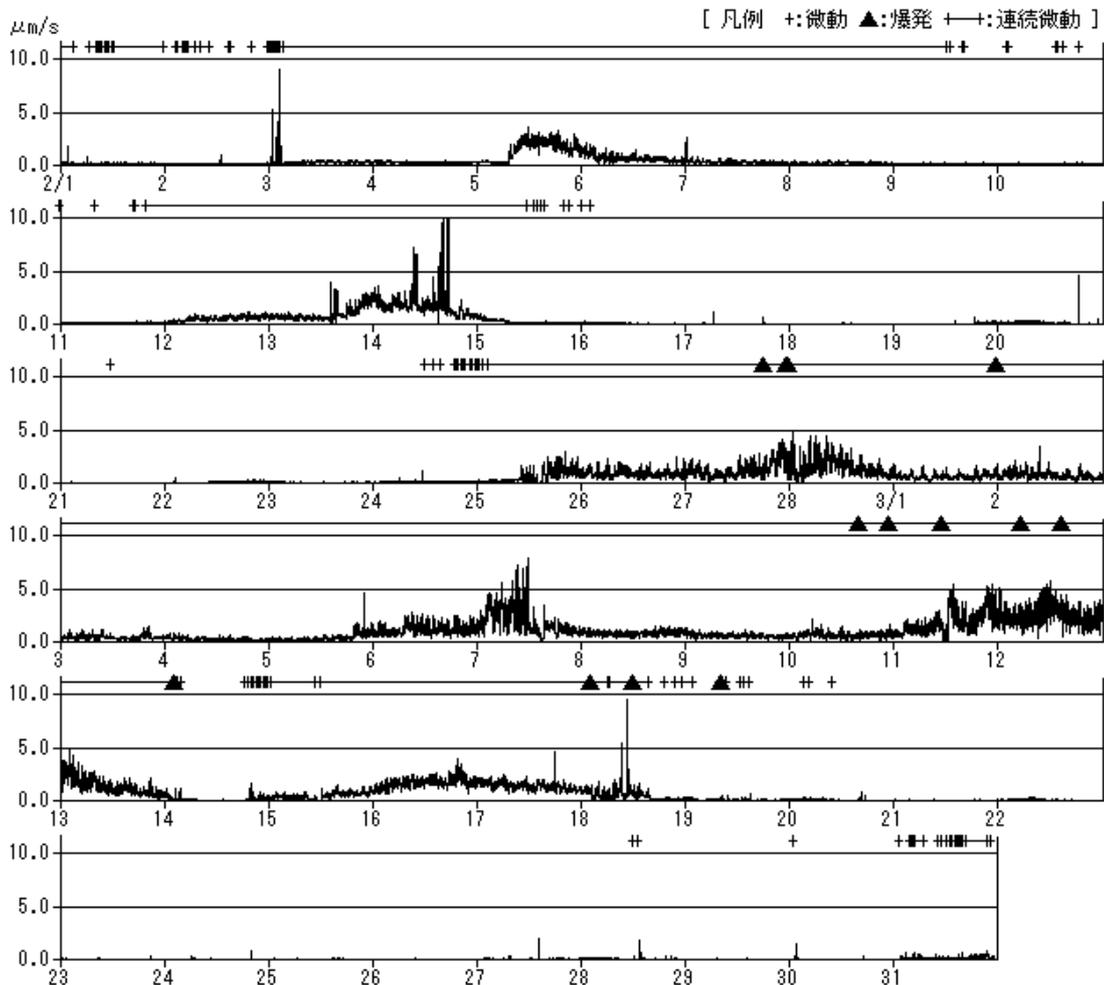


図4 1分間平均振幅の時間変化(上下動)(2003年2月1日~2003年3月31日)

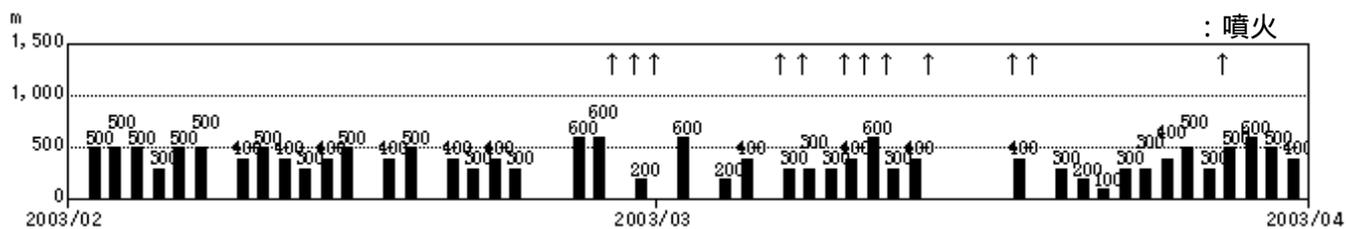


図5 日別最高噴煙高度(2003年2月1日~2003年3月31日)



図6 A型地震の日別回数(2003年2月1日~2003年3月31日)



図7 A型地震の最大振幅(上下動)(2003年2月1日~2003年3月31日)

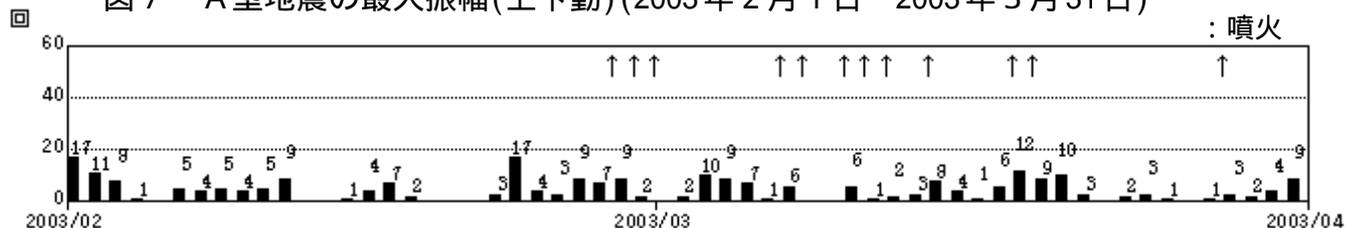


図8 B型地震の日別発生回数(2003年2月1日~2003年3月31日)



図9 B型地震の最大振幅(上下動)(2003年2月1日~2003年3月31日)



図10 爆発地震の日別発生回数(2003年2月1日~2003年3月31日)

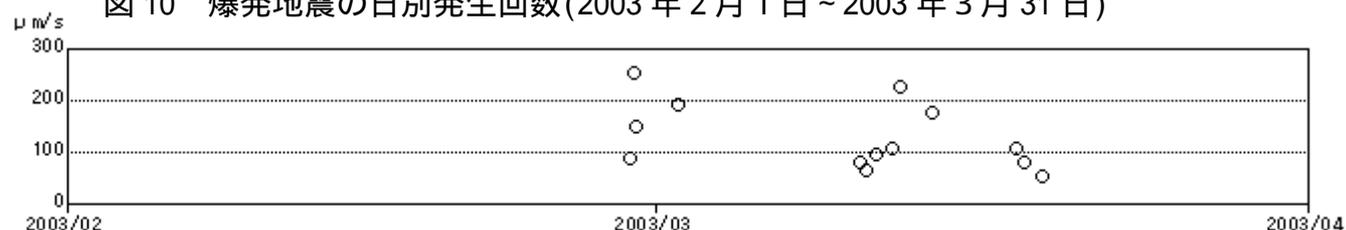


図11 爆発地震の最大振幅(上下動)(2003年2月1日~2003年3月31日)

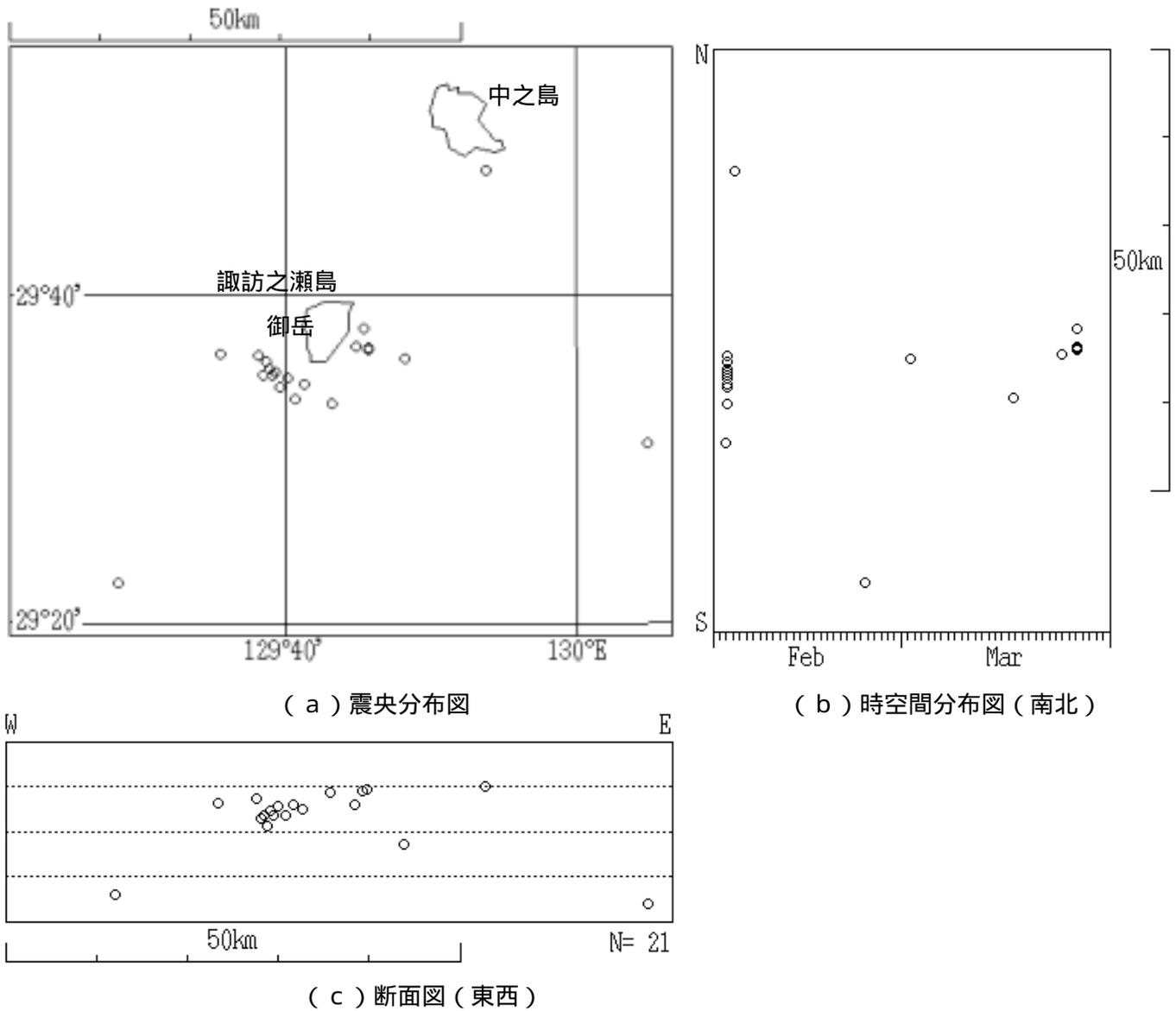


図12 震源分布図(2003年2月1日~2003年3月31日)  
 \* 気象庁の地震計および大学等他機関の地震計のデータを利用

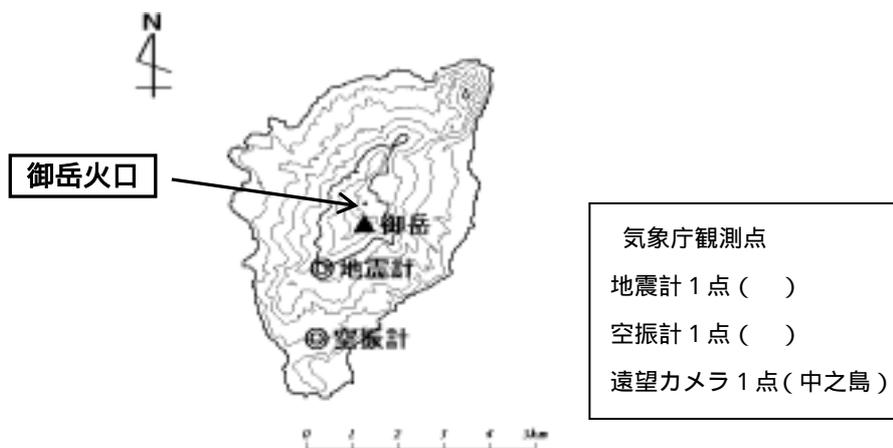


図13 観測点位置図